

4 公共交通

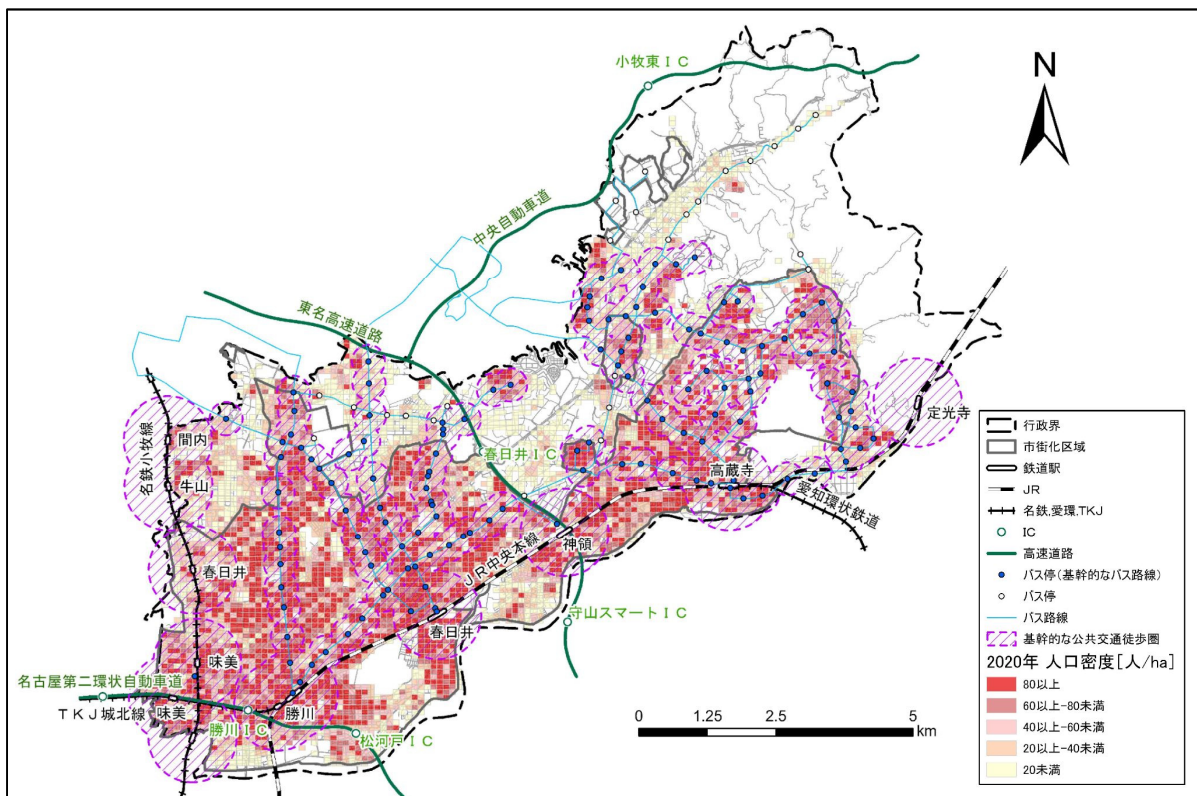
(1) 公共交通

対象施設：鉄道及び路線バス

- ◆ 基幹的公共交通路線※の徒歩圏は、市街化区域の大部分をカバーしていますが、JR中央本線南側の各駅間のほか、人口密度が高い市西部の一部に徒歩圏外のエリアがみられます。
- ◆ 基幹的公共交通路線の徒歩圏のカバー率は73.1%となっており、当初計画よりもやや減少している一方、平均人口密度は51.0人/haと当初計画よりも上昇しています。また、類似都市と比較して高い水準となっています。
- ◆ コミュニティバスを含む全ての公共交通の徒歩圏のカバー率は93.1%となっており、当初計画よりも減少している一方、平均人口密度は46.0人/haと当初計画よりも上昇しています。

※ 基幹的公共交通路線…『都市構造の評価に関するハンドブック/国土交通省都市局都市計画課』を踏まえ、ピーク時片道3本/時以上、又は、片道30本/日以上の鉄道及び路線バスとして定義しています。

【図 基幹的公共交通路線の徒歩利用圏－徒歩圏半径：鉄道駅800m、バス停300m】



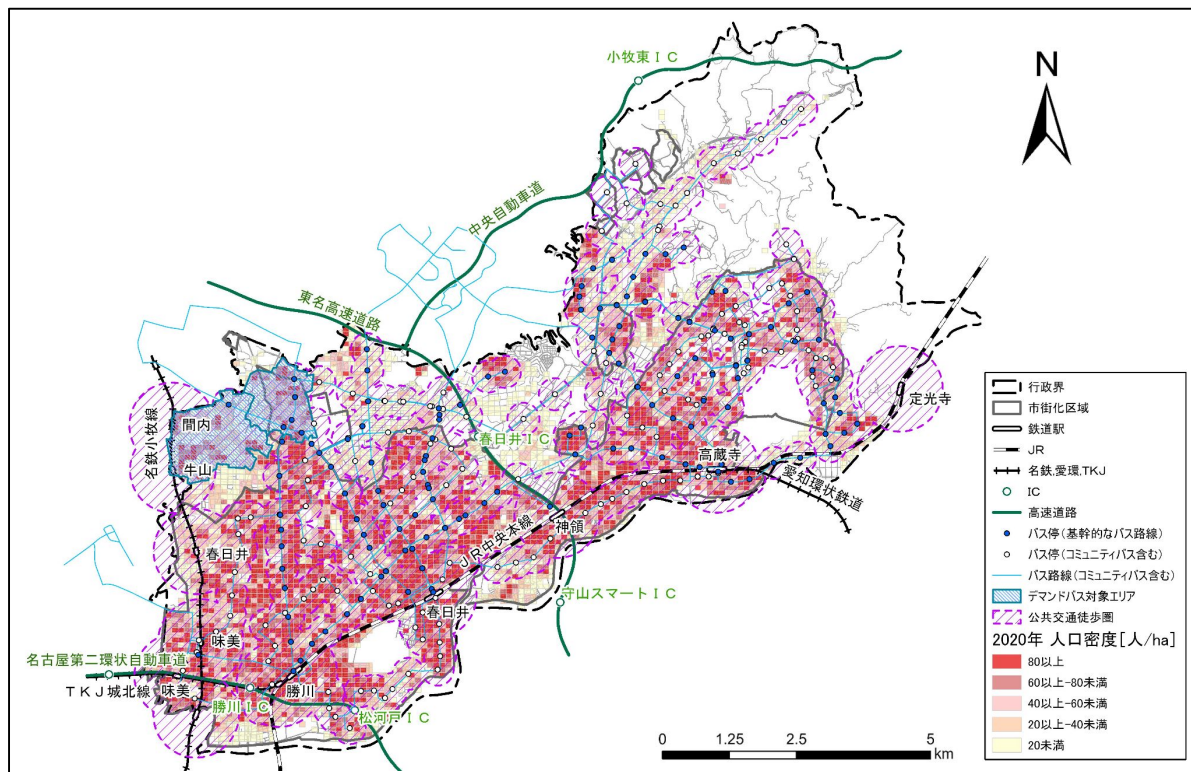
	当初計画	現況	増減
徒歩圏カバー率	73.9%	73.1%	-0.8%
徒歩圏平均人口密度	45.6人/ha	51.0人/ha	+5.4人/ha

資料：春日井市資料、2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳

【表 類似都市等との比較（基幹的公共交道路線）】

基幹的公共交道路線 徒歩圏カバー率	春日井市	全国平均	政令市	40～70万人	10～40万人	10万人以下
	73.1%	35.4%	74.5%	62.3%	48.1%	26.7%
		豊橋市	岡崎市	一宮市	豊川市	豊田市
		58.2%	56.7%	53.4%	50.5%	46.9%
	安城市	小牧市				
	54.6%	60.4%				
<参考> 基幹的公共交道路線 徒歩圏平均人口密度	春日井市					
	51.0人/ha					
【備考】徒歩圏は、鉄道駅：半径800m、バス停：半径300mとして設定。						

【図 公共交通路線（コミュニティバスを含む）の徒歩利用圏－徒歩圏半径：鉄道駅800m、バス停300m】



	当初計画	現況	増減
徒歩圏カバー率	92.9%	93.1%	+0.2%
徒歩圏平均人口密度	42.0 人/ha	46.0 人/ha	+4.0 人/ha

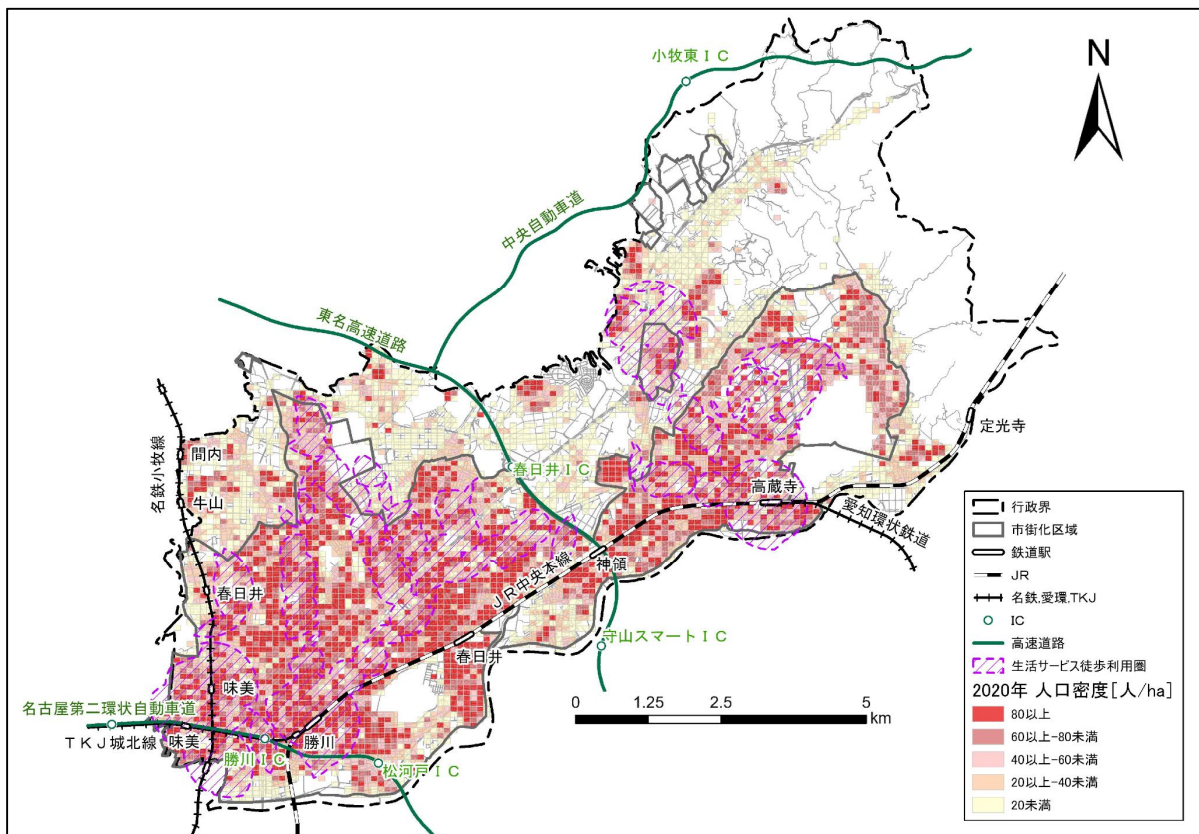
資料：春日井市資料、2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳

5 生活利便性

(1) 生活利便性

- ◆生活利便性として、生活サービス施設（医療施設（病院、診療所）、高齢者福祉施設（通所系、小規模多機能、訪問系）、商業施設（延床面積1,500㎡以上）及び基幹的公共交通路線）を徒歩圏で享受できるエリアのカバー率は49.3%で、類似都市と比較して高い水準となっています。また、平均人口密度は61.2人/haとなっています。
- ◆商業施設について、延床面積500㎡以上を含めた場合、生活サービス施設（医療施設（病院、診療所）、高齢者福祉施設（通所系、小規模多機能、訪問系）、商業施設（延床面積500㎡以上）及び基幹的公共交通路線）を徒歩圏で享受できるエリアのカバー率は60.7%、平均人口密度は62.3人/haとなっています。

【図 生活サービスの徒歩利用圏－生活サービス施設800m、鉄道駅800m、バス停300m】



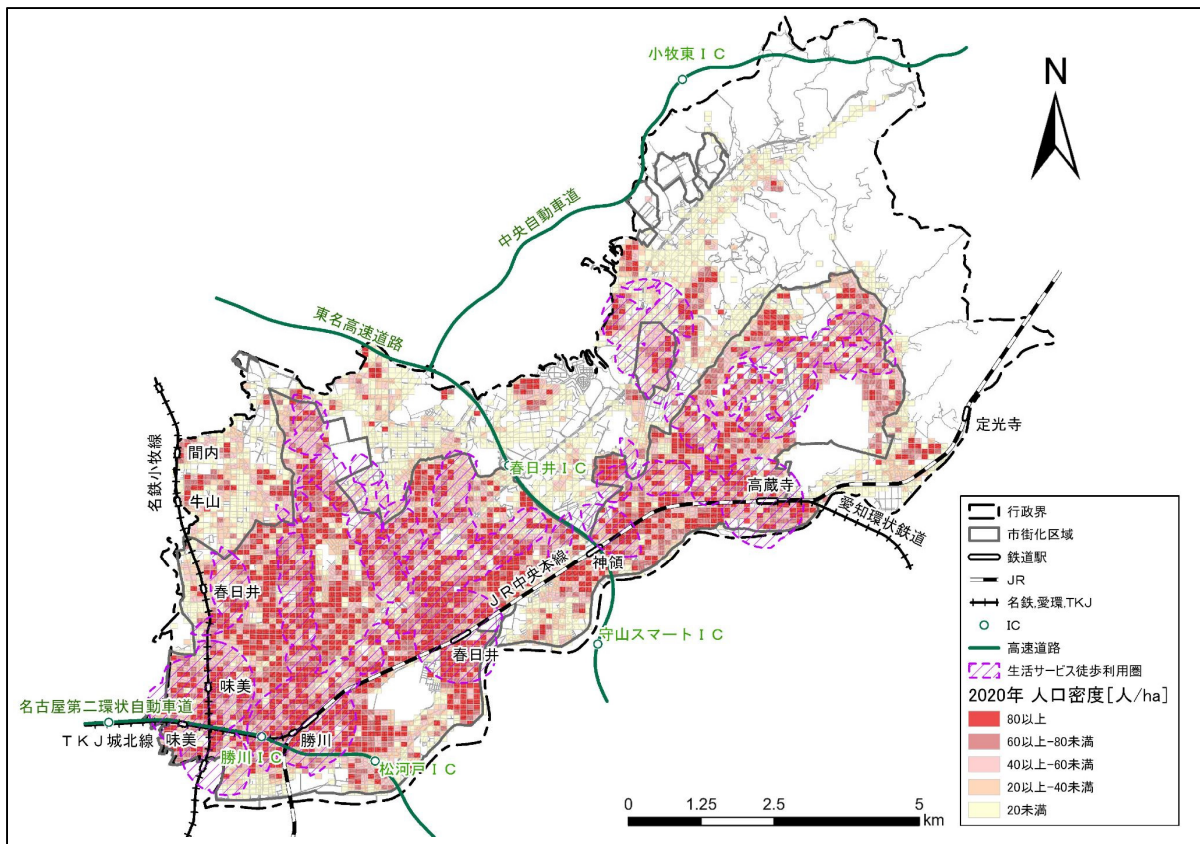
	当初計画	現況	増減
徒歩圏カバー率	44.9%	49.3%	+4.4%
徒歩圏平均人口密度	54.9人/ha	61.2人/ha	+6.3人/ha

資料：春日井市資料、2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳

【表 類似都市等との比較（生活サービス施設800m、鉄道駅800m、バス停300m）】

生活サービス 徒歩圏カバー率	春日井市	全国平均	政令市	40～70万人	10～40万人	10万人以下
	49.3%	16.4%	56.1%	42.8%	31.4%	10.6%
		豊橋市	岡崎市	一宮市	豊川市	豊田市
		45.0%	39.5%	36.5%	35.9%	25.9%
		安城市	小牧市			
40.2%	44.9%					
<参考> 生活サービス 徒歩圏平均人口密度	春日井市					
	61.2人/ha					
<p>【備考】医療施設（病院及び診療所）、福祉施設（高齢者福祉施設（通所系、小規模多機能、訪問系）、商業施設（延床面積1,500㎡以上）及び基幹的公共交通路線（ピーク時片道3本以上、又は、片道30本/日以上の鉄道及びバス）路線の全てを徒歩圏で享受できる人口の比率。 徒歩圏は、医療施設、福祉施設、商業施設、鉄道駅：半径800m、バス停：半径300mとして設定。</p>						

【図 生活サービスの徒歩利用圏（延床面積500㎡以上の商業施設を含む）－生活サービス施設800m、
鉄道駅800m、バス停300m】



	当初計画	現況	増減
徒歩圏カバー率	59.5%	60.7%	+1.2%
徒歩圏平均人口密度	57.1 人/ha	62.3 人/ha	+5.2 人/ha

資料：春日井市資料、2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳

(2) 中心拠点区域（都市再構築戦略事業実施のための区域要件）

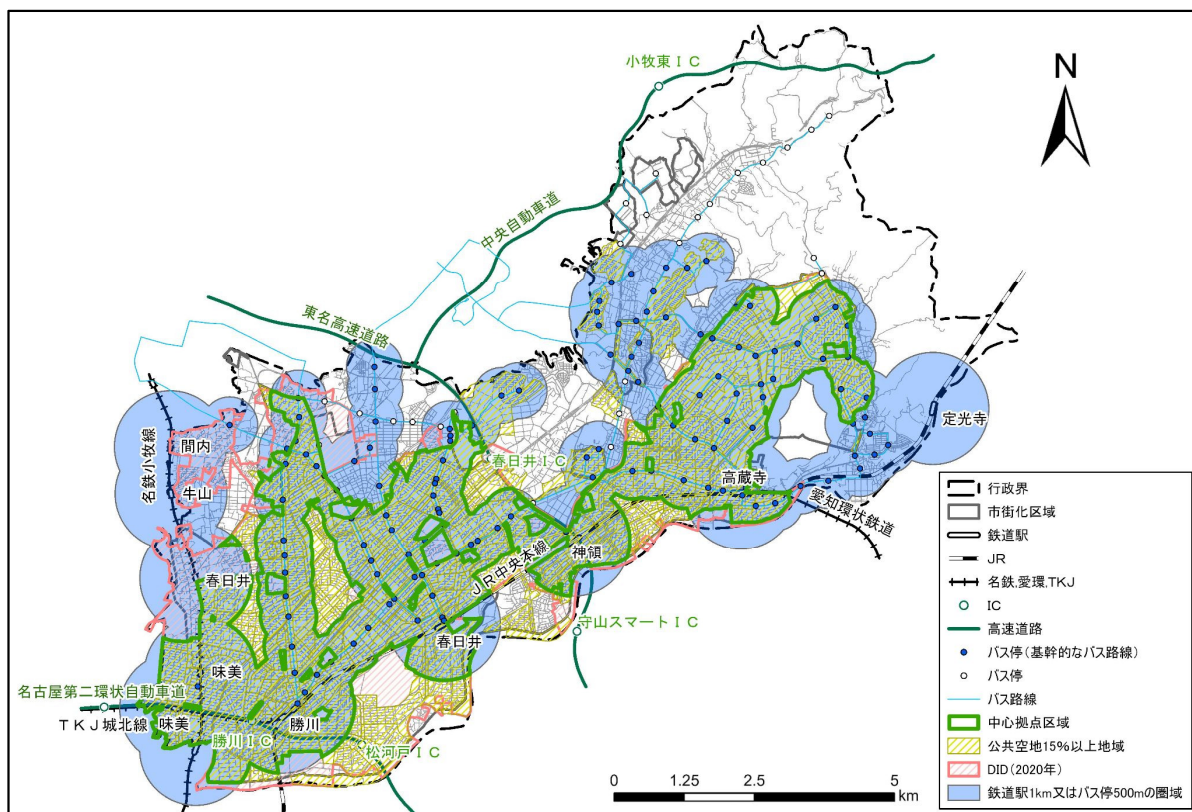
- ◆都市再生整備計画事業において、既存ストックを活かし、持続可能な都市構造を実現するための核として定義される中心拠点区域*に該当するエリアは、市街化区域の広い範囲となっています。
- ◆市街化区域のうち、現行計画策定では名鉄春日井駅周辺の公共用地率は15%未満であったため、中心拠点区域に該当しませんでした。現時点では中心拠点区域が拡大しており、名鉄春日井駅周辺の一部も中心拠点区域となっています。現在、土地区画整理事業が施工中であることから、計画的な道路等の整備により、今後も中心拠点区域の拡大が見込まれます。

※ 中心拠点区域…次の全ての要件を満たす区域をいいます。

- ・国勢調査の結果に基づく人口集中地区内（今後、直近の国勢調査の結果に基づく人口集中地区に含まれると見込む区域を含む。）
- ・鉄道・地下鉄駅（ピーク時運行本数（片道）が3本以上）から半径1kmの範囲内又は基幹的なバス・軌道の停留所・停車場（ピーク時運行本数（片道）が3本以上）から半径500mの範囲内
- ・公共用地率15%以上の地域内（今後、公共用地率が15%以上となることが確実である地域を含む。）

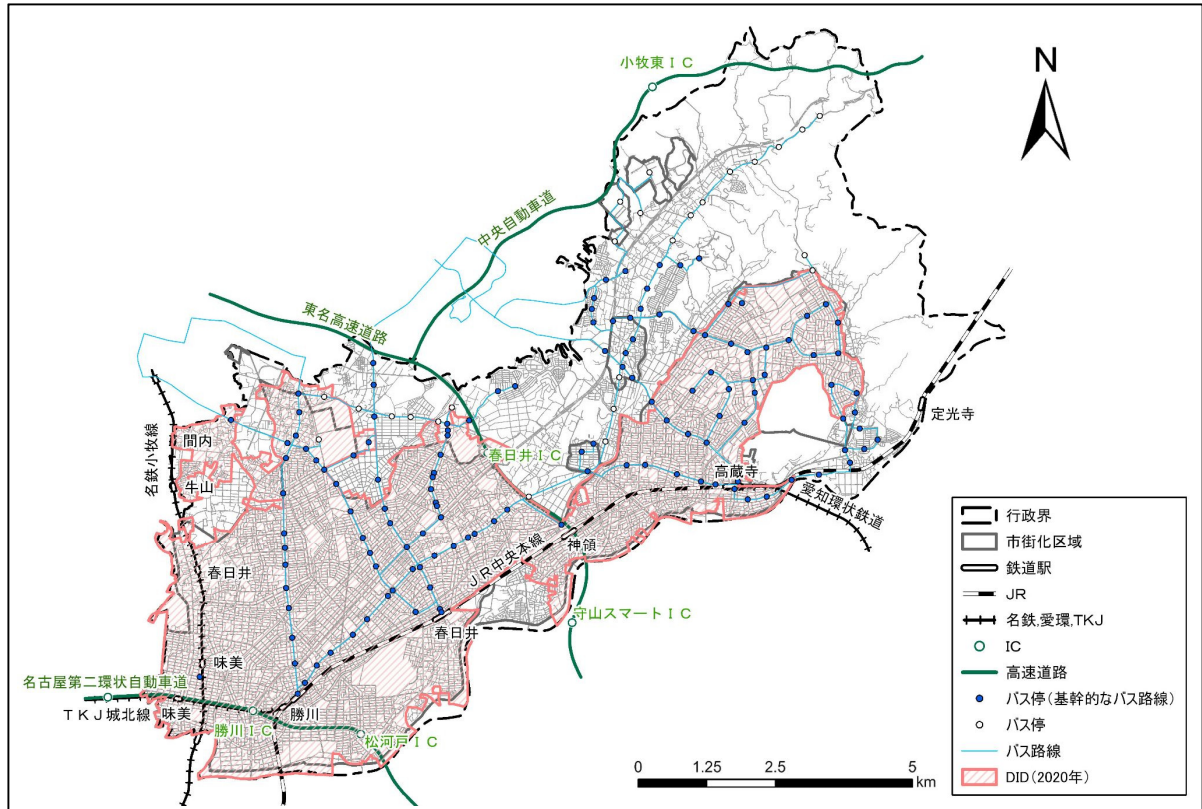
【図 中心拠点区域】

【備考】人口集中地区は、2020年（令和2年）国勢調査による。公共用地率は対象区域面積に占める道路、公園、緑地又は広場の面積として、ここでは、都市計画基礎調査における基本ゾーンごとに、土地利用現況の「道路用地」と「公共空地」の合計面積を、基本ゾーンの面積で除して算定している。



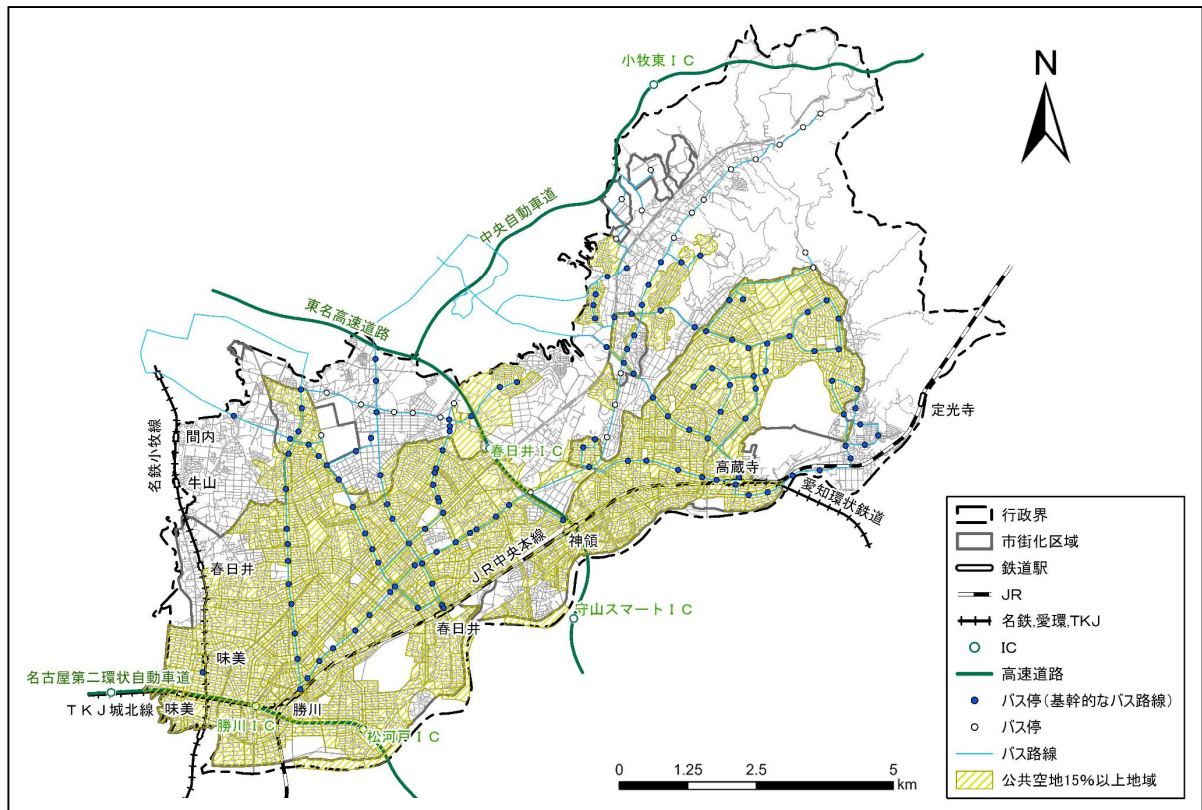
資料：春日井市資料、国土数値情報

【図 人口集中地区】



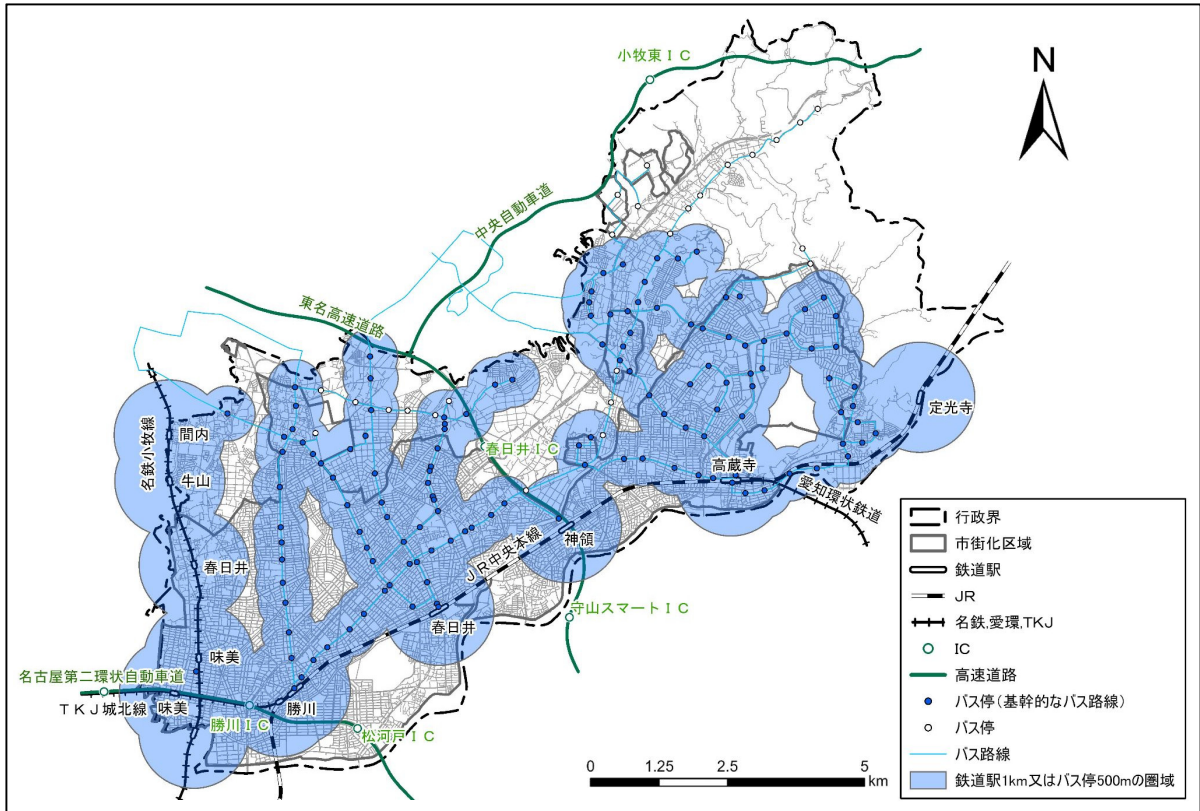
資料：春日井市資料、国土数値情報

【図3-25 公共用地率15%以上の区域】



資料：春日井市資料、都市計画基礎調査（2018年度（平成30年度））

【図3-26 鉄道駅1km又はバス停500mの圏域】



資料：春日井市資料

